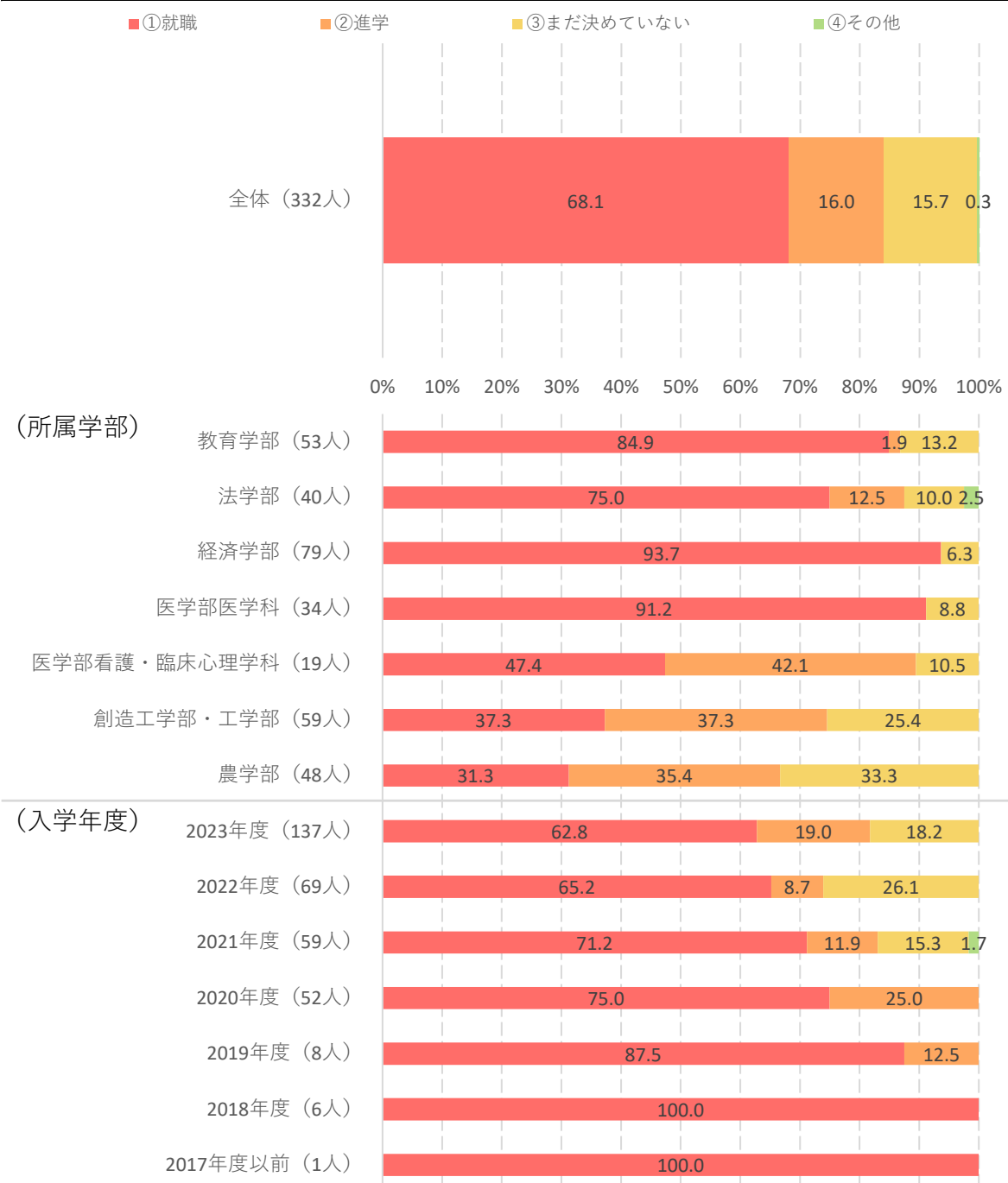


3 職業選択

(1) 卒業後の進路

問35 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

現時点での卒業後の進路について、就職と回答した学生の割合は70%弱で、前回調査と同様の傾向でした。また、入学年度により未定の学生の割合が異なりましたが入学年度による一定の傾向は認められませんでした。入学したばかりの2023年度入学生の進学希望割合は19%と、前回調査の17.6%と比較して若干高くなっていました。ちなみに、2020年度入学生は前回調査で19.8%が進学を希望していましたが、今回25.0%となっており、具体的に進路を決める学年を迎え、上昇が認められました。

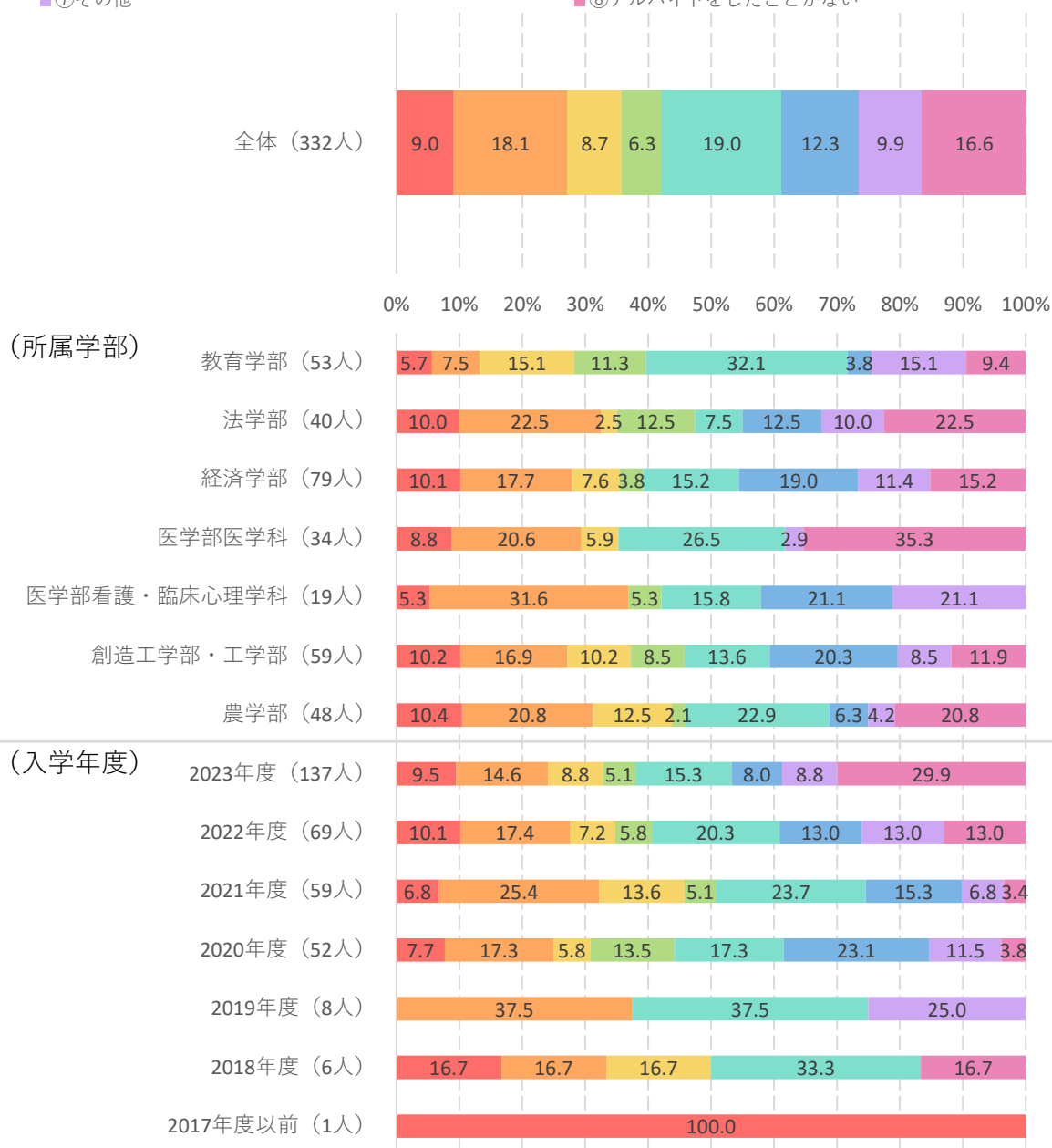


(2) 職種を選ぶ基準

問36 あなたがアルバイトをしたとき、何を基準にして仕事を選びましたか。

アルバイトを選ぶ基準は様々であることが分かりますが、中でも多いのが「給料が良いこと」「社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと」で、前回調査と同様の傾向でした。一方で、「アルバイトをしたことがない」学生も16.6%いることがわかりました。これは今回から調査項目となったため、前回調査と比較できませんが、法学部および医学部医学科に多く、サークル等の活動を「学業の妨げになる」と回答した学生が多い学部であることを考慮すると、学業に専念したい学生が多い学部であると推察されます。

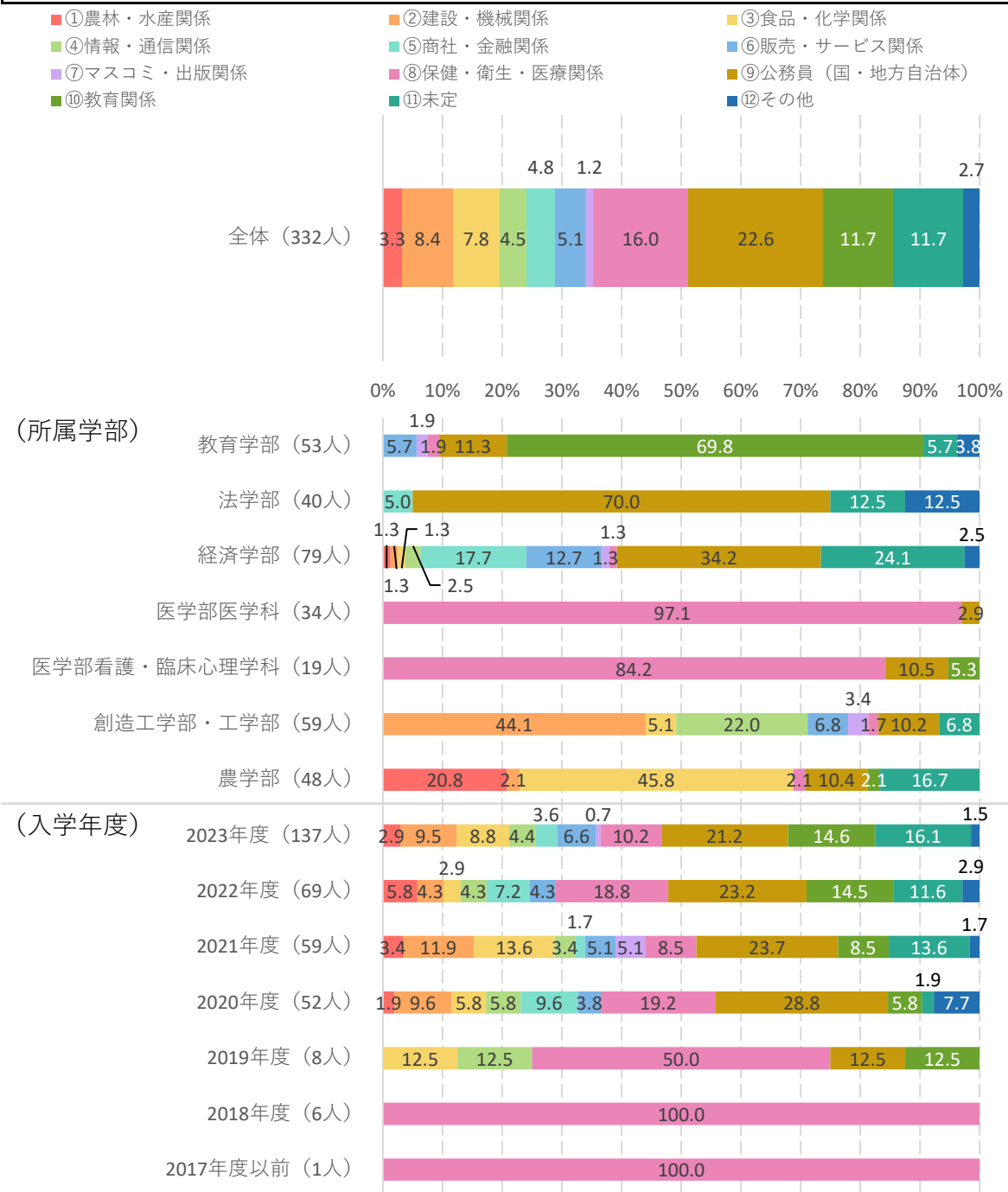
- ①新しい知識や技術を学ぶ機会が多いこと
- ②社会の現実や人間関係を学ぶ機会が多いこと
- ③おもしろい仕事や好きな仕事であること
- ④仕事内容と自己の能力や経験が合致していること
- ⑤給料が良いこと
- ⑥(時間的、身体的、精神的に) 楽であること
- ⑦その他
- ⑧アルバイトをしたことがない



(3) 希望する分野

問37 職業を決めるに当たって希望する分野は何ですか。

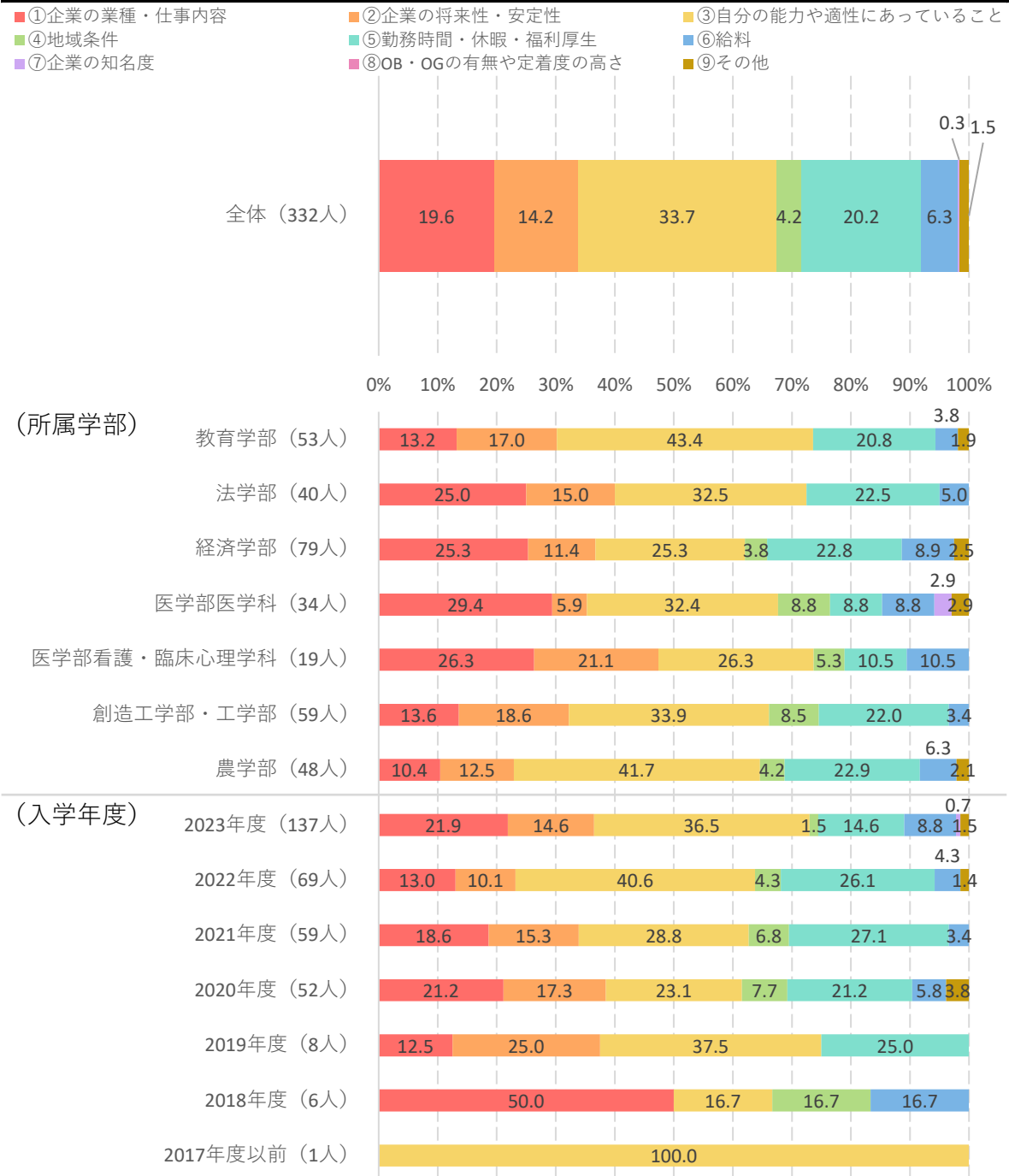
希望する職業分野は、全体では「公務員（国・地方自治体）」が22.6%で最も高く、次いで「教育関係」、「保健・衛生・医療関係」の順となっており、前回調査と同様の傾向がうかがえます。所属学部別にみると、教育学部では「教育関係」、法学部と経済学部では「公務員」、医学部では「保健・衛生・医療関係」、農学部では「食品・化学関係」が最も高く、創造工学部・工学部では「建設・機械関係」が高い傾向がみられ、将来の希望職種分野と学部の特色が強く相関しています。



(4) 職業選定で重視すること

問38 職業を決めるに当たって重視することは何ですか。

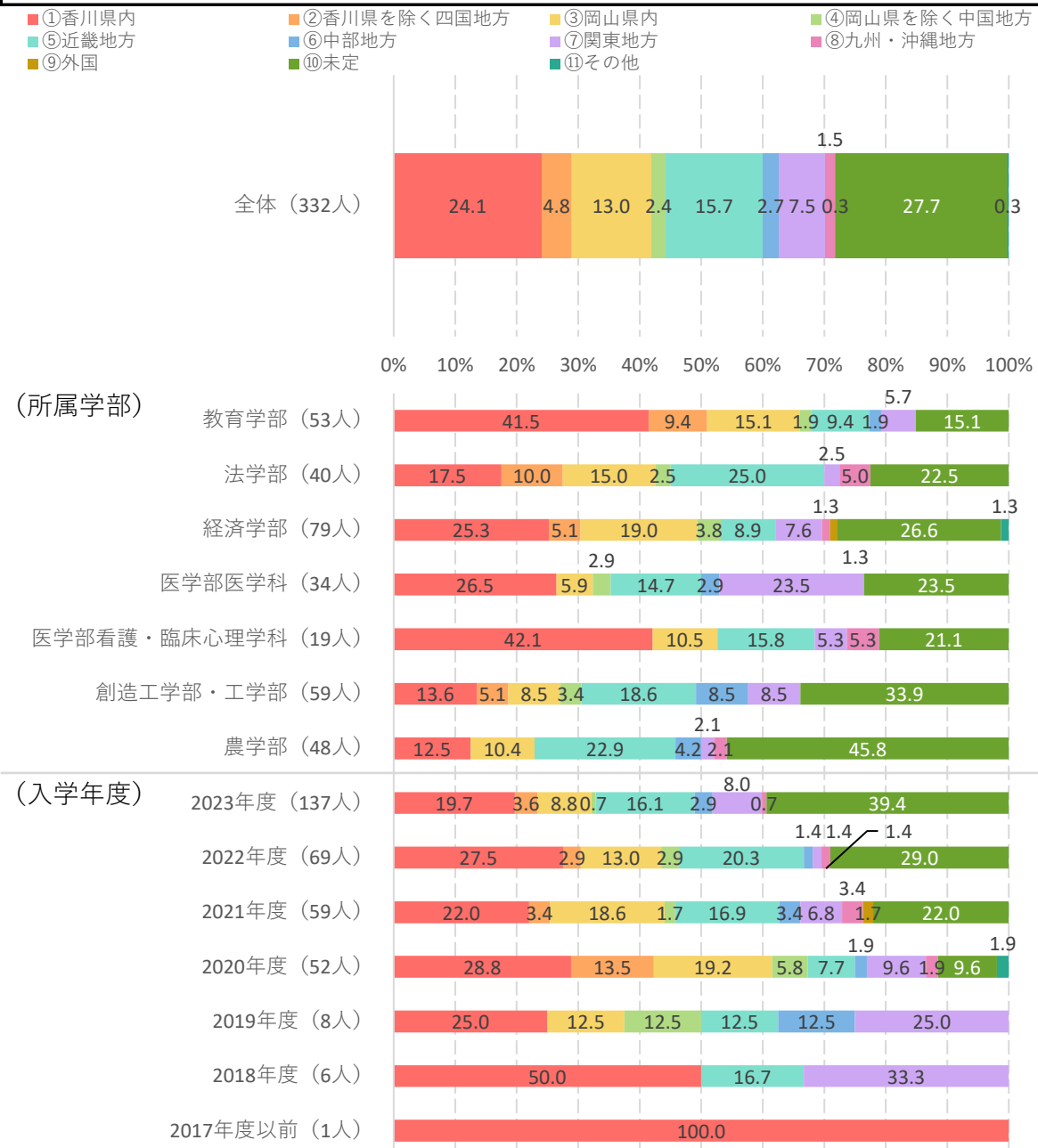
職業を決めるにあたって重視することは、全体では「自分の能力や適性にあっていること」が32.8%で最も高く、次いで「企業の業種・仕事内容」、「勤務時間・休暇・福利厚生」、「企業の将来性・安定性」の順となっていて、前回調査と同じ傾向となっています。所属学部別でみると、どの学部でも「自分の能力や適性にあっていること」が最も高く、特に経済学部と農学部がそれを重視する傾向にあります。



(5) 就職を希望する地域

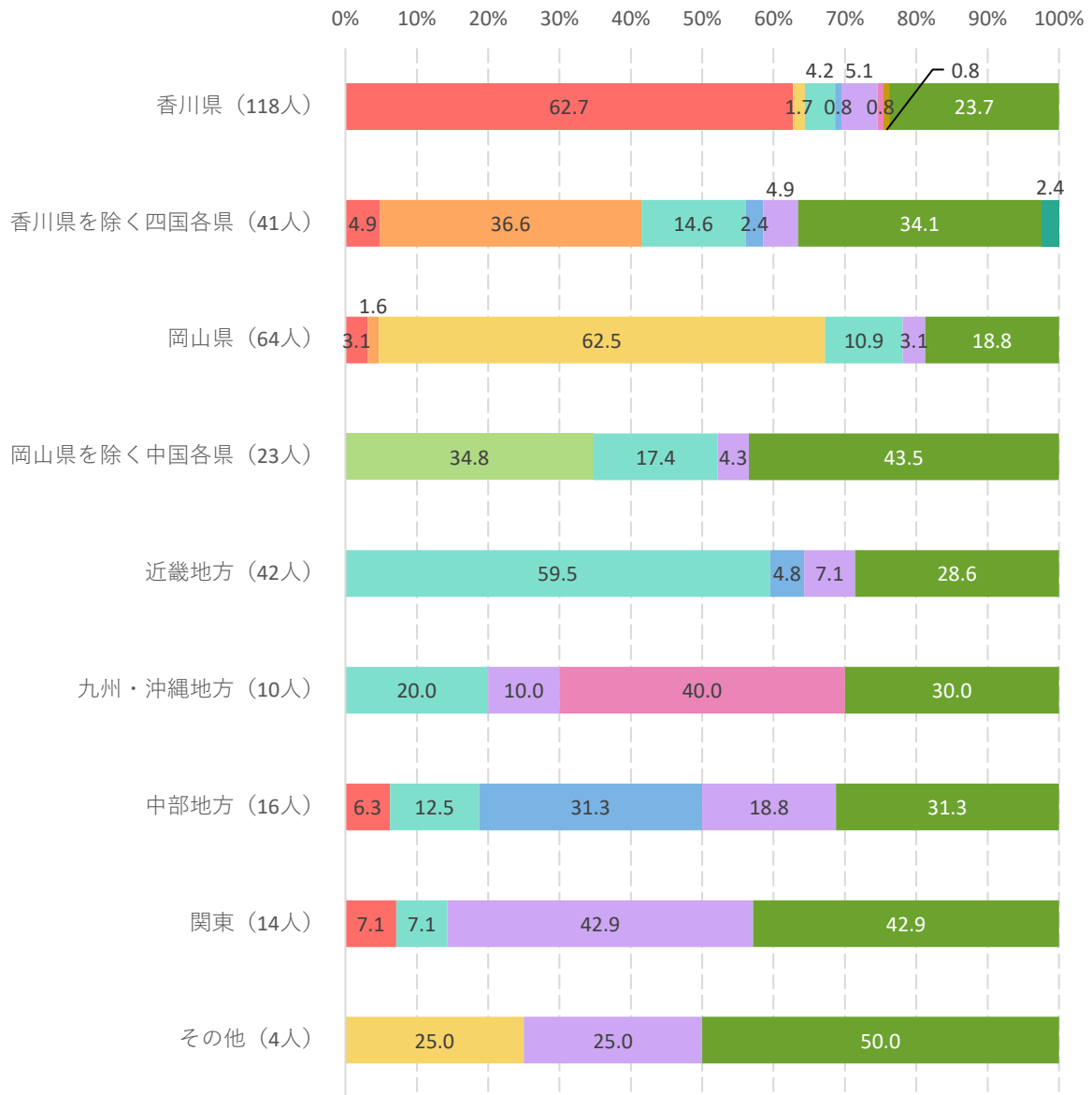
問39 就職先としてどの地域を希望しますか。

就職先として希望する地域は、全体では「未定」が最も高く、次いで「香川県内」「岡山県内」「近畿地方」が続いています。所属学部別にみると、希望する地域に差異がみられます。特に教育学部と医学部看護・臨床心理学科では、それぞれ41.5%と42.1%が香川県内を希望し、県内での就職を希望する学生が多い傾向が見られます。それ以外の学部では「未定」を除くと、「近畿地方」を希望する割合が高く、近畿地方圏を就職先として希望する傾向が見られます。一方で、医学部医学科は関東地方を希望する割合が高いことが他学部と異なっています。また、出身地域と就職の希望地域には相関がみられます。



(就職を希望する地域×出身地)

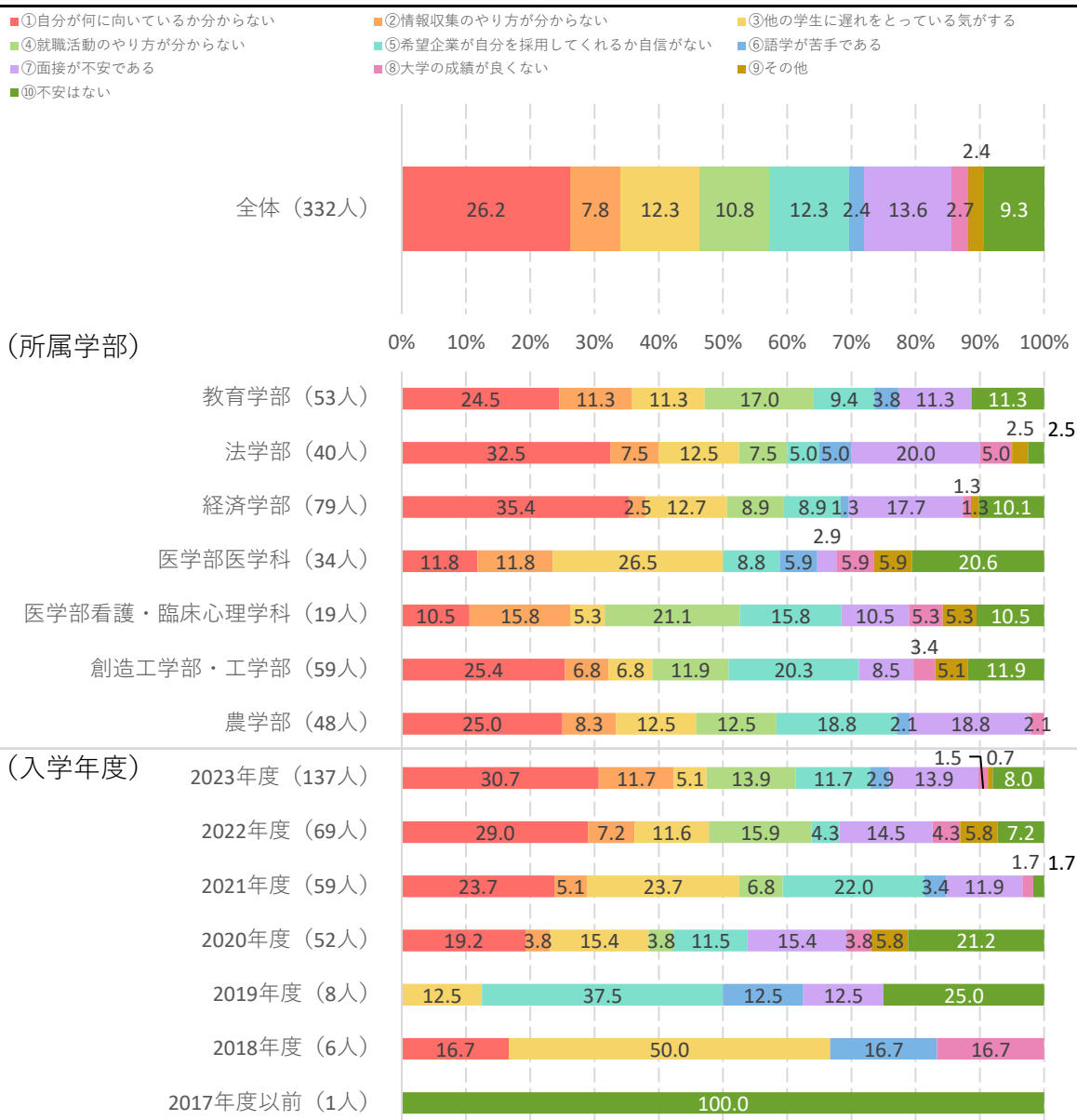
- ①香川県内
- ②香川県を除く四国地方
- ③岡山県内
- ④岡山県を除く中国地方
- ⑤近畿地方
- ⑥中部地方
- ⑦関東地方
- ⑧九州・沖縄地方
- ⑨外国
- ⑩未定
- ⑪その他



(6) 就職活動で不安なこと

問40 就職活動に関して不安に思っていることは何ですか。

就職活動に関して不安に思っていることは、全体では「自分が何に向いているかわからない」が26.2%と最も高く、次いで「面接が不安」の順になります。所属学部別にみると、教育学部と創造工学部・工学部、農学部では全体の傾向に近くなっています。「自分が何に向いているかわからない」は、特に法学部と経済学部で高く、自分の将来像を明確化できていない傾向が見られます。逆に、医学部医学科と医学部看護・臨床心理学科では「自分が何に向いているかわからない」は低くなっており、前回調査と同じ傾向が見られます。さらに、医学部医学科では「不安はない」が他学部よりも高い一方で、「他の学生に遅れをとっている気がする」が26.5%と最も高く、他学部と異なる傾向が見られます。



(7) 就職に関する大学への要望

問41 就職に関する大学への要望について、次のうちから一つ選んでください。

全体では「履歴書・エントリーシートの書き方、面接対策等の実践指導の充実」が20.5%と最も高く、これは前回調査と同じでした。一方、2位(15.7%)の「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」は前回調査の12.8%から上昇しました。「ガイダンス、セミナー等の充実」も前回調査の9.1%から13.0%と増加しています。所属学部別の傾向として、創造工学部・工学部にて「就職情報誌等の充実」が多い点などは前回調査と同様でした。

- ①就職情報誌、就職関係書籍、PC(利用環境)の充実
- ②ガイダンス、セミナー等の充実
- ③相談員による就職相談、職業適性検査の充実
- ④履歴書・エントリーシートの書き方、面接対策等の実践指導の充実
- ⑤就職・職業に関する授業(キャリア科目)の充実
- ⑥公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策
- ⑦企業説明会の内容充実、回数の増加
- ⑧求人企業の開拓強化
- ⑨その他

